

令和3年度第1回 関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会 議 事 概 要

1 開催日時：令和3年7月7日（水）～ 23日（金）

2 開催場所：各委員に個別に資料提示・説明

3 委員

委員長	池田耕一	（一社）経営倫理実践研究センター	首席研究員
委員	赤松幸夫	赤松法律事務所	弁護士
〃	大野正英	麗澤大学	教授
〃	岡本直久	筑波大学	教授
〃	山田 努	筑波大学大学院	客員教授

（委員は五十音順）

4 議 事

令和2年度関東地方整備局コンプライアンス報告書（案）について

5 概 要

事務局が各委員に、令和2年度における関東地方整備局のコンプライアンスに関する取り組みについて、報告書案を提示して説明し、記載内容等について意見を伺った。

委員からは、報告書の内容について特に異論はなく、「取組状況、評価など、全体的に妥当と思われる。また、コロナ禍にあって相当の努力が重ねられ、それに応じた成果も得られている。」と評価された。

【主な意見】

- ① 映像視聴はアンケートの意見（長すぎる、分割してほしい）を取り入れた方が良い。
- ② 「職員にコンプライアンス週間が根付いてきている傾向が伺える」とは、行事としてすでにマンネリ化への道に進み出していることと同義とも感じるため、関係者間で意見を出し合いながら新たな視点、アイデアを探してほしい。
- ③ コンプライアンス週間のアンケートで「OBの意識改革」についての意見があり、この点での取組の継続・努力を望む。